

平成29年11月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成29年11月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市を活動拠点とし、日本フットボールリーグ（JFL）で活躍しているサッカーチーム「ヴァンラーレ八戸」のホーム最終戦が、11月12日（日）、八戸市のダイハツスタジアム（八戸市多賀多目的運動場）で開催されます。

また、このホーム最終戦が、2017シーズンのラストゲームです。

J3昇格を目指すヴァンラーレ八戸は、現在、年間通算順位5位に付けており、J3昇格条件の4位以内まであと順位1つです。

さらに、J3昇格条件のもう1つが、ホームゲーム平均入場者数2,000人です。

11月5日（日）に行われたホーム戦では、2,965人のサポーターの応援で勝利に結びつくことができました。

目標まであと1,169人です。

八戸市からJリーグのチームが誕生するには、みなさまの熱い応援が必要です。ぜひ、みなさまの応援、よろしくお願いいたします。

### ■ヴァンラーレ八戸

<http://www.vanraure.net>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸11月号 レポート

平成29年10月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

| 記事  | 概要                                     |
|-----|--|
| (1) | 市博物館 八戸のコメと歴史を紹介する「米－育てる・食べる・祈る－」特別展開催 |
| (2) | ブックセンターで企画展 「暮らしの手帖」創刊 花森さん、大橋さんの人物像紹介 |
| (3) | 五輪メダリスト伊調馨選手に「八戸市スポーツ大使」委嘱             |
| (4) | 八戸南部氏庭園 秋の開園                           |
| (5) | 八戸圏域アンテナショップを都内に 2020年めどに市が計画          |

## 【産業】

| 記事  | 概要                        |
|-----|---------------------------|
| (6) | 南郷地区でワイン用ブドウ初収穫           |
| (7) | 八戸港スルメイカ漁 3年連続不漁か         |
| (8) | ユニバース 北インター工業団地の総菜工場を本格稼働 |
| (9) | 高卒予定者就職面談会 「売り手市場」参加者最少   |

## 【地域】

| 記事   | 概要                                   |
|------|--------------------------------------|
| (10) | 「光の施工例コンテスト」 みちのく庭園（八戸）の橋本さんがグランプリ大賞 |
| (11) | 安藤昌益資料館 10月で開館8周年                    |
| (12) | 島守の虚空蔵水車復活 新そば祭りで「やがらそば」提供           |
| (13) | 米に流れ着いた蔵島神社の笠木 新たなつながり育む             |
| (14) | JR八戸線 12月2日から新型車両で運転開始               |
| (15) | アマチュア無線愛好家 市制88周年を国内外にPR             |
| (16) | 階上岳5000回登頂 八戸市の中居さん快挙                |

## 【文化・スポーツ】

| 記事   | 概要                              |
|------|---------------------------------|
| (17) | J3昇格へ観客確保急務 ～ヴァンラーレ 応援に来て！～     |
| (18) | バトントワリング世界大会 八戸市の菊池綾乃さんが入賞      |
| (19) | 喜多郎さん×坂本サトルさんのジョイントコンサート開催      |
| (20) | 寺の本堂でジャズライブ 「小中野音楽祭in常現寺」11月に開催 |
| (21) | 剣道段位八戸審査会で親子3人が同時昇段             |

## 【行政】

| 記事  | 概要   |
|-----|--|
| (1) | <p><b>市博物館 八戸のコメと歴史を紹介する「米－育てる・食べる・祈る－」特別展開催</b></p> <p>八戸市博物館で10月7日、市制施行88周年記念特別展「米－育てる・食べる・祈る－」が始まった。88歳を「米寿」と呼ぶように、「米」の字を分解すると「八十八」になることから企画。展示資料数も88点にそろえた。弥生時代の初めから現代まで、日本人に欠かせないコメと八戸の長い関わりを網羅した展示となっている。開館時間は午前9時～午後5時。入館料は一般300円、高校・大学生150円、小中学生50円。市内小中学生と88歳の方は無料。11月12日まで。</p>            |
| (2) | <p><b>ブックセンターで企画展 「暮しの手帖」創刊 花森さん、大橋さんの人物像紹介</b></p> <p>生活家庭雑誌「美しい暮しの手帖」（後の「暮しの手帖」）を創刊した、花森安治と大橋鎮子の二人にスポットを当てた企画展が、八戸ブックセンターで開かれている。花森は、同誌の初代編集長で、大橋はNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の主人公のモデルにもなっている。同展は、暮しの手帖社の協力の下、二人の人物像を紹介するパネルに加え、著作や実際に使用された中つり広告なども展示している。入場無料。11月26日まで。</p>                                 |
| (3) | <p><b>五輪メダリスト伊調馨選手に「八戸市スポーツ大使」委嘱</b></p> <p>八戸市は10月20日、本年度創設した「市スポーツ大使」として、五輪女子個人種目で史上初の4連覇を成し遂げたレスリングの伊調馨選手に委嘱状を交付した。スポーツ大使制度は、市を拠点とするスポーツチームやトップアスリートを通して、市の魅力をPRしてイメージアップを図るとともに、市民の郷土への愛着を育む目的で設立された。任期は2019年3月末まで。大使として今後、市内の学校で講演、講座などを行う予定。伊調選手は「自分にできることを全力でやる」と述べ、地域スポーツを盛り上げていくことを誓った。</p> |
| (4) | <p><b>八戸南部氏庭園 秋の開園</b></p> <p>藩政時代の園芸技術を今日に伝える八戸市売市の八戸南部氏庭園で、秋の開園が10月20日～23日開催された。同園は、八戸藩が南部信順公を第9代藩主として養子に迎えたことをきっかけに造られた。石を船や橋に見立てるなど、水を使わず川や海を表現する枯山水様式で、松やツツジ、モミジといった草木が数多くある。2005年から毎年春と秋に開園し、これまでに4万8千人以上が訪れた。初日は開園とともに多くの方が訪れ、色づき始めた木々を眺めながら歴史に思いをはせていた。</p>                                  |
| (5) | <p><b>八戸圏域アンテナショップを都内に 2020年めどに市が計画</b></p> <p>八戸市は10月20日、市と近隣町村の物産販売や観光情報発信の拠点となるアンテナショップを2020年めどに東京都内に開設する考えを明らかにした。アンテナショップの開設は初めてで、八戸圏域の食ブランドを生かした広域連携事業の一環。首都圏の住民や都内を訪れる国内外の観光客をターゲットに、地元食品などの物品販売をはじめ、U・I・Jターンや企業誘致、産学連携の拠点としての機能を想定する。本年度、立地場所や売り上げ見込みなどを調査し、来年度から具体的内容の検討に着手する。</p>          |

【産業】

| 記事  | 概要  |
|-----|---|
| (6) | <p><b>南郷地区でワイン用ブドウ初収穫</b></p> <p>本年度が市場デビューとなる八戸ワインの醸造に向け、南郷地区で、生産者がワイン用ブドウの初収穫に取り組んでいる。市によると、南郷地区ではこれまでに26品種約7400本のワイン用ぶどうが植えられ、今年は約4トンの収穫を見込む。昨年は試験醸造のみだったため、販売に向けた収穫は初となる。市内のワイナリーなどで醸造され、年末のスパークリングワインを皮切りに順次、発売される見通しである。</p>  |
| (7) | <p><b>八戸港スルメイカ漁 3年連続不漁か</b></p> <p>八戸港のスルメイカ漁は3年連続の不漁となる公算が大きくなった。八戸市水産事務所が10月11日に発表した水揚げ統計によると、今シーズンの9月までの水揚げ実績は、記録的な不漁だった前年を1割ほど下回る水準で推移。近海を漁場とする大中型巻き網船、小型イカ釣り船の不調が響いており、水産関係者は「覚悟はしていたが、ここまでひどいとは…」と落胆する。価格も依然として高止まりしており、加工など関連産業への影響が懸念される。</p>   |
| (8) | <p><b>ユニバース 北インター工業団地の総菜工場を本格稼働</b></p> <p>北東北でスーパーを展開するユニバース（八戸市）は、八戸北インター工業団地に新設した総菜工場「ユニバース八戸デリカセンター」を本格稼働させ、10月16日から全57店舗でセンター製造の総菜を販売している。総菜工場の開設は同社にとって初めて。店舗数の増加や商圈の拡大を踏まえ、総菜に対する消費者ニーズの高まりに対応した。当面は40品目を作るが、将来的には製造量を増やしながらか100品目に拡大する方針。稼働開始に伴い、新たに従業員101人を雇用した。</p>                   |
| (9) | <p><b>高卒予定者就職面談会 「売り手市場」参加者最少</b></p> <p>八戸、三沢、野辺地の各公共職業安定所などは10月26日、八戸プラザアーバンホールで来年3月卒業予定の高校3年生を対象とした就職面談・面接会を開いた。参加生徒は八戸市内の8校計28人で過去最少。全国的な人手不足で生徒優位の「売り手市場」が続いていることを背景に、企業の求人活動が早まって内定者が増えているためとみられる。八戸職安によると8月末現在、管内の新規高卒予定者で就職を希望しているのは783人。八戸管内を希望する479人に対し、求人数は1300人で、求人倍率は2.71倍に上る。</p> |

【地域】

| 記事   | 概要   |
|------|--|
| (10) | <p><b>「光の施工例コンテスト」 みちのく庭園（八戸）の橋本さんがグランプリ大賞</b></p> <p>八戸市の造園会社みちのく庭園で庭職人を務める橋本卓さん(34)が設計、施工した住宅の外装照明が、ガーデニング関連製品の製造などを手掛ける「タカショー」（和歌山県海南市）主催の「第8回光の施工例コンテスト」でグランプリ大賞を受賞した。同コンテストは、一般家庭の庭や玄関前の照明の美しさと技術などを競い合い、今年は120作品が1次審査を通過。展示会に来場した一般客の投票と関係者による審査で9月に順位が決定した。橋本さんは、担当した八戸駅付近に立地する一般家庭の外装を出展。「美しい夜を創る」と題し、豊かな緑をテーマに照明を融合させた。東北の企業が最高賞を取るのは初めて。</p> |

|      |  |
|------|--|
| (11) | <p><b>安藤昌益資料館 10月で開館8周年</b></p> <p>八日町の「安藤昌益資料館」が開館し、10月で8周年を迎えた。昌益は現在の秋田県大館市出身。江戸時代の八戸で医師を務める傍ら、「自然真営道」などの著書に思想をまとめ、農業を中心とした差別のない社会が理想であると説いた。思想に共感し足を運ぶファンは県外客が大半で地元での知名度アップが課題だったが、最近は授業などで地元小中学生が訪れる機会が増えつつある。11月18日には天聖寺で恒例のフォーラムも予定しており、館長は「地域の文化資源を見詰め直すには格好の人物。積極的に資料館を活用して」と呼び掛けている。</p>      |
| (12) | <p><b>島守の虚空蔵水車復活 新そば祭りで「やがらそば」提供</b></p> <p>破損して2015年から使用できない状態が続いていた南郷島守の通称・虚空蔵水車の修復が終わり10月10日、現地で安全祈願祭が行われた。地元では水車でひいたそばを「やがらそば」と呼んで独特の風味を売りにしてきた。破損した後も、イベントの来場者にやがらそばを楽しんでもらおうと、他地域の協力を得て水車を借りたり、人力で石臼をひいた粉を混ぜたりして、ここ2年の新そば祭りをしのいできた。22、29日に新そば祭りが開催され、地元関係者は「久々に地元のやがらそばが提供できた」と喜んでた。</p>         |
| (13) | <p><b>米に流れ着いた巖島神社の笠木 新たなつながり育む</b></p> <p>東日本大震災の津波で流失した巖島神社の鳥居の笠木が、新たなつながりをつくった。笠木を発見した米国人女性の姉、ケイト・オールバーグさんが10月25日、市立大久喜小を訪問した。当時、流れ着いた笠木を発見したオールバーグさんの妹が、日本旅行専門のツアープランナーをしていた姉に相談し、震災で日本から流れ着いたのではないかという話になり、その後の神社への返還につながった。今回オールバーグさんら米国人のツアー客計12人が来八。同校での交流会で児童と一緒に日本の伝統的な遊びを体験するなどして親睦を深めた。</p> |
| (14) | <p><b>J R八戸線 12月2日から新型車両で運転開始</b></p> <p>J・R東日本は、八戸線（八戸ー久慈間）に導入される新型の気動車（ディーゼルカー）「キハE130系500代」の運転を、12月2日に開始すると発表した。新型車両の一番列車は八戸駅午前10時7分発、久慈行きの下り列車。初日は下り3本、上り2本の計5本を運行する。現在運行中の車両「キハ40系」は来年3月までに順次、新型車両に置き換える。</p>   |
| (15) | <p><b>アマチュア無線愛好家 市制88周年を国内外にPR</b></p> <p>八戸市の市制施行88周年を無線でPRしようと、市内のアマチュア無線愛好家らでつくる「BeFMアマチュア無線クラブ」の会員6人が6～9月の4か月間、特別記念局のコールサインを運用して国内外の1200人と交信した。同クラブは、総務省東北総合通信局に申請し、88周年の意味を込めた期間限定の特別コールサイン「8J7H88Y」の免許交付を受けた。交信できた人に対しては記念に、八戸三社大祭の山車の写真が載った交信証明書を贈った。</p>                                       |
| (16) | <p><b>階上岳5000回登頂 八戸市の中居さん快挙</b></p> <p>八戸市の中居秀雄さん(70)が10月28日、階上岳（標高739.6メートル）の登頂5千回を達成した。中居さんは会社を退職後、友人に誘われて2000年8月21日から階上岳の登山を開始。最高で年間346回登ったこともあり、出会った人やコースなどを細かく記録に残している。28日は、午前8時40分ごろに登山口を出発。紅葉を楽しみながら登り、同10時半に頂上に着いた。山頂では登山仲間が中居さんにケーキを渡し、ノンアルコールビールで乾杯、喜びを分かち合った。</p>                           |

【文化・スポーツ】

| 記事   | 概要  |
|------|---|
| (17) | <p><b>J3昇格へ観客確保急務 ～ヴァンラーレ 応援に来て！～</b></p> <p>日本フットボールリーグ（JFL）に所属し、J3昇格を目指すヴァンラーレ八戸が、J入りの条件の一つである「ホーム戦の平均観客数2千人以上」の達成に腐心している。残るホーム戦3試合（10/22、11/5、11/12）で6499人（1試合平均2166人）が必要で、楽観視できない状況にある。成績でも昇格ぎりぎりの戦いが続いており、クラブ側は「温かい応援が選手の力になる」と多くの来場を呼び掛けている。</p>  |
| (18) | <p><b>バトントワーリング世界大会 八戸市の菊池綾乃さんが入賞</b></p> <p>八戸市の「バトンチームAries」の菊池綾乃さん(27)が、クロアチアで開かれたバトントワーリングの世界大会「第9回WBTFインターナショナルカップ」で7位に入賞した。大会には19カ国が参加。菊池さんは技術面と芸術面の両方を競う種目「アーティスティックトワール」の、22歳以上の約20人が出場した女子アダルト部門で演技を披露した。菊池さんは初めての世界の舞台に、「夢だった世界大会で入賞を果たすことができた。会場の雰囲気も温かく、幸せな時間だった」と充実した表情で振り返った。</p>   |
| (19) | <p><b>喜多郎さん×坂本サトルさんのジョイントコンサート開催</b></p> <p>グラミー賞受賞者の喜多郎さんと、南部町出身のシンガー・ソングライター坂本サトルさんのジョイントコンサート「未来への祈り VOL・1」が10月21日、八戸市公会堂で開かれた。今回のコンサートは、地域を代表するお祭りにしていきたいとの思いから、伝統芸能を織り交ぜたステージに。法霊神楽で幕開けし、喜多郎さんは代表曲などを披露。坂本さんは南部手踊りの小柴瑩子社中、日計えんぶり組と共演しながら熱唱した。青森県南地方の伝統芸能などとコラボレーションした幻想的な舞台が、大勢の観客を魅了した。</p> |
| (20) | <p><b>寺の本堂でジャズライブ 「小中野音楽祭in常現寺」11月に開催</b></p> <p>寺の本堂を会場に、ジャズを中心とした音楽ライブが楽しめる「小中野音楽祭in常現寺」が11月12日、八戸市小中野6丁目の常現寺で初めて開かれる。世界的ジャズピアニストのデビッド・マシューズさんや、八戸ジャズ楽団のキッズ団員らが出演する。小中野に拠点を置く左比代虎舞も登場し、ジャズ演奏とコラボレーションする。時間は午後2～4時半。料金は大人千円、中高生500円、小学生以下無料。</p>   |
| (21) | <p><b>剣道段位八戸審査会で親子3人が同時昇段</b></p> <p>9月3日に南郷体育館で行われた「剣道段位八戸審査会」で、高館剣道少年隊の坂田あつ子さん(46)が初段、次女の菜桜さん(14)が二段、長女の泉水さん(16)が三段にそれぞれ昇段した。審査会は県内で年に数回行われ、今回の八戸審査会では県南地方を中心に198人が挑戦。段位が上がるほど必要修行年数は延びていくため、3人が同時昇段するのは珍しい。そんな中、学科、実技、決められた形を決める日本剣道形の試験を、3人は普段の稽古で培った実力で見事突破した。</p>                           |



八戸都市圏8市町村による移住トークイベント

# 「半都半邑(はんとはんゆう)の楽しさ」

振り返れば、結婚も移住も、決め手はいつも「人」だった。

青森県南・太平洋側に位置する八戸都市圏(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)。この地域に暮らす「人の魅力」にフォーカスした移住トークイベント「半都半邑の楽しさ」を東京・移住交流情報ガーデンにて開催します。いつもとはちょっと違う視点から、青森の暮らしに触れられるイベントです。お誘いあわせのうえ、ぜひお気軽にご参加ください。

## 平成29年11月26日(日)

第一部 13:30～15:30 / 第二部 15:30～16:30(受付13:00～)

会場：移住・交流情報ガーデン

(東京都中央区京橋一丁目1-6 越前屋ビル1階)

参加費：無料

主催：八戸圏域連携中枢都市圏

詳細は  
裏面へ！

<お申込み・お問合せ>

八戸市 総合政策部 広報統計課 シティプロモーション推進室  
電話：0178-43-2320 FAX：0178-47-1485 iju@city.hachinohe.aomori.jp



申込フォーム

## 当日のプログラム【予定】

<第一部> 13時半～15時半

### ①8市町村によるPRタイム

### ②大喜利的トークセッション

「移住の先輩 & 移住担当者が真剣勝負！  
暮らしの中で出会ったあんな人・こんな人との秘蔵エピソードを大喜利で披露します。」

### ③移住した人！したい人！して欲しい人！ごちゃまぜ座談会

「参加者のみなさんと移住の先輩、移住担当者も交えて、わいわいおしゃべりしましょう。  
大喜利では聞ききれなかったギモンやもっと知りたいことなど、ぜひ聞いてみてください。」

<第二部> 15時半～16時半

### ④もうちょっと話したい！交流会

「青森」をキーワードに集まった同士、自由に交流を深める時間です。  
※移住担当者との個別相談もちろんOKです。八戸圏域就職相談ブースも出展しますのでご活用ください。」

## 申し込みについて

本イベントは当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みをいただくようご協力をお願いします。

申込先：右のQRコードから申し込みフォームへアクセスいただくか、八戸市総合政策部広報統計課  
シティプロモーション推進室までご連絡ください。

TEL/0178-43-2320 FAX/0178-47-1485 E-mail/iju@city.hachinohe.aomori.jp



申込フォーム

半都半邑(はんとはんゆう)＝「半分都会、半分田舎」のライフスタイル。  
寒さ厳しい北国のほっこりした暮らしを体感してみませんか？

### 移住相談窓口のご案内

八戸圏域連携中枢都市圏を構成する八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町の8市町村の移住・定住に関する各種相談をお受けいたします。定住支援制度や住居や就職、生活環境など移住へ向けたお悩み、8市町村について知りたいことなど、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先／

〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1 八戸市総合政策部広報統計課 シティプロモーション推進室

TEL/0178-43-2320 FAX/0178-47-1485 E-mail/iju@city.hachinohe.aomori.jp

移住コーディネーターによる相談受付日時／

月・水・金（祝日・年末年始は除く）8時15分から17時まで ※業務の都合により不在にする場合があります。

## 申込書

|   |  |
|---|--|
| 氏名  |  |
| 年齢  |  |
| 職業  |  |
| 電話番号  |  |
| メールアドレス<br>※主にメールでのご連絡となりますので、普段使っているものをお知らせください。 |  |
| 現在お住まいの地域<br>(例：東京都世田谷区)                          |  |
| 出身地<br>(例：青森県八戸市)                                 |  |
| ご参加の動機、知りたいことなど                                   |  |

※ご提供頂いた個人情報については、本イベントに関するご連絡、移住関連情報のご案内等にのみ利用させていただきます。